

第63回(2025年度)学術研究奨励金(研究助成)の対象決定

公益財団法人 三島海雲記念財団(理事長 羽田 正、所在地 東京都渋谷区)は、第63回(2025年度)学術研究奨励金(研究助成)の対象を決定しました。贈呈式は7月4日(金)に東京會館(東京都千代田区)にて行います。

今年度の奨励金交付総数は91件、総額は1億3,884万円です。対象者と助成研究については、次頁以降をご参照ください。これにより1962年度から2025年度までの累計助成金額は20億7,892万円、延べ2,405件になります。

今回の学術助成金額

	自然科学分野 件数・額	人文科学分野 件数・額	合計 件数・額
個人研究	39件 3,900万円	40件 4,000万円	79件 7,900万円
共同研究	8件 4,000万円	4件 1,984万円	12件 5,984万円
合計	47件 7,900万円	44件 5,984万円	91件 1億3,884万円

今回助成される皆様の中から、将来の三島海雲学術賞が輩出されることを期待しています。

三島海雲記念財団について



財団創設者 三島海雲

当財団は、自然科学、人文科学に関する教育、研究を援助奨励し、もってその成果の普及を図り、学術、文化の向上、国民生活の充実に寄与することを目的としています。カルピス株式会社創業者の三島海雲が1962年(昭和37年)に全資産を投げ設立しました。

この目的に基づき、社会貢献の一端を担う学術支援活動をこれからも一層推進してまいります。

<本件に関するお問合せ先>

公益財団法人 三島海雲記念財団

(担当：青山)

〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-6-10 ジラッフアビル

T e l : 0 3 (5 4 2 2) 9 8 9 8

e - mail : mishimak15@mishima-kaiun.or.jp

U R L : <https://www.mishima-kaiun.or.jp>

2025年度学術研究助成 研究課題および対象者一覧

【自然科学分野】 個人研究 39件 / 1件100万円の助成

No.	研究課題	氏名	所属機関	役職
1	β -hydroxybutyrateの新規生理作用を介した骨格筋保護効果	AISYAH RAHMAWATI	広島大学大学院 統合生命科学研究科	博士課程
2	共培養系を用いた培養困難な植物病原細菌に有効かつ安全な防除化合物のスクリーニング	赤堀 真子	東京大学大学院 農学生命科学研究科	博士課程
3	加齢に伴う長期記憶障害の細胞基盤解明と食による介入法の構築	上田(石原) 奈津実	東邦大学 理学部	准教授
4	サルコペニア抑制における最適なタンパク質摂取量とそのメカニズムの解明	荒木 裕貴	Biozentrum, University of Basel Markus Rügge Lab	研究員
5	古代人ゲノムを用いた東ユーラシア地域における食性変容メカニズムの解明	石谷 孔司	金沢大学 サピエンス進化医学研究センター	助教
6	感覚分子と受容体の立体構造相互作用を活用した味覚・嗅覚分子予測のためのAI技術開発	岩田 浩明	鳥取大学 医学部	教授
7	幹細胞因子変異マウスを用いた味覚受容体を介した自然リンパ球活性化機構の解析	WU YINGA	東京大学大学院 農学生命科学研究科	博士課程
8	メチルグリオキサール摂取による健康増進作用の検討:骨格筋-脳連関の視点から	江川 達郎	京都大学大学院 人間・環境学研究科	准教授
9	腸管恒常性における硫酸化糖鎖の役割の解明	岡本 翔太	大阪大学大学院 医学系研究科	博士課程
10	大量培養系を用いて合成したTMC4タンパク質の高純度精製技術の開発	笠原 洋一	東京大学大学院 農学生命科学研究科	特任研究員
11	食事由来の短鎖・中鎖脂肪酸による抗腫瘍免疫応答増強作用の解明とその臨床応用	加藤 侑希	日本大学 医学部	助教
12	黒酵母由来 β -グルカンによる腫瘍免疫環境最適化とがんワクチン増強研究	胡 キン	国立成育医療研究センター 移植免疫室	研究員
13	摂食と社会行動を相互に制御する神経基盤の解明	昆 一弘	Johns Hopkins University Kennedy Krieger Institute	研究員
14	NFIAと時計遺伝子の相互作用メカニズムの解明と褐色脂肪細胞を活性化する食習慣の解析	斎藤 楓	東京大学 保健・健康推進本部	特任研究員
15	モモせん孔細菌病の防除に向けた持続可能な防除法の探索	坂田 七海	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学学域(農)	特任助教
16	通いの場の地域活動による地域在住高齢者の社会的ネットワークと食行動との関連	佐藤 清香	高崎健康福祉大学 健康福祉学部	講師
17	食嗜好をもたらす風味の脳内情報処理機構	塩谷 和基	名古屋大学大学院 生命農学研究科	助教
18	乳酸菌発酵食品由来の新規細胞外小胞の機能特性と皮膚恒常性維持機構の解明	篠崎 優衣	星薬科大学 生体分子薬理学研究室	博士課程
19	水中PFASの可視光分解と分解物回収を可能にする有機半導体ナノ粒子の技術開発	柴田 暁貴	東北大学大学院 工学研究科	博士課程
20	神経変性疾患治療に向けた腸PIEZO1選択的ターゲティング法の構築	鈴木 美希	順天堂大学 薬学部	講師
21	卵白タンパク加水分解物の生体調節作用機序の解明とその応用	田中 愛健	九州大学大学院 農学研究院	助教
22	ファージ感染阻害因子を克服する合成ファージを用いた大腸菌O157高感度検出技術の開発	田村 あずみ	東京大学大学院 新領域創成科学研究科	博士課程
23	食生活関連疾患の遺伝学的背景の解明と予防医療への応用	内藤 龍彦	Icahn School of Medicine at Mount Sinai Neuroscience	研究員
24	食に関する2疾患(神経性やせ症・MASLD)の共通点に着目した肝・神経連関の解明	中居 暉	大阪公立大学大学院 医学研究科	博士課程
25	末梢組織を作用点とする抗うつ食材としてのミカン区・ダイダイ区カンキツの有用性評価	中島 健輔	長崎国際大学 薬学部	助教

(自然科学分野 個人研究の続き)

No.	研究課題	氏名	所属機関	役職
26	酪酸による神経-免疫調節を介したアレルギー制御機構の解明	長田 和樹	東京理科大学 先進工学部	助教
27	口腔を守る食品機能成分のハイスループットスクリーニング法の開発と作用機構の解析	萩原 真	新潟県立大学 人間生活学部	講師
28	脳の生体エネルギーを回復する植物栄養素の同定：統合失調症に対する新たな介入戦略	Parida Isabella Supardi	東京都医学総合研究所 統合失調症プロジェクト	研究員
29	児童思春期の摂食障害患者の家族療法を支援する生成AI対話システムの開発研究	半澤 愛	岡山大学病院 小児科・小児心身医療科	医員
30	胎盤機能に着目した食品ナノマテリアルの安全性評価	東阪 和馬	大阪大学 高等共創研究院	准教授
31	黄麹菌の栄養源応答機構に関する分子細胞生物学的解析	樋口 裕次郎	九州大学大学院 農学研究院	准教授
32	ホスホリパーゼ活性制御による子宮内環境の最適化と着床成功率の向上	松野 雄太	東海大学 総合農学研究所	特定研究員
33	腸管オルガノイド共培養系を用いた次世代プロバイオティクスの機能評価	宮内 栄治	群馬大学 生体調節研究所	准教授
34	腸脳相関から紐解く：親の栄養状態が子のストレスレジリエンスに与える影響	村山 留美	千葉大学大学院 医学薬学府	博士課程
35	記憶の長期化を司る細菌叢 - 腸 - 脳軸の理解	山方 恒宏	秋田大学大学院 理工学研究科	准教授
36	高脂肪食摂取による肥満を予防する新規分子機構の解明	山田 麻未	名古屋市立大学大学院 理学研究科	特任助教
37	食行動・エネルギー代謝制御を担う神経分子基盤としてのArcadlinの可能性	横川 拓海	京都大学大学院 農学研究科	助教
38	心理ストレスが味覚・嗅覚受容体に及ぼす影響の解明	吉田 悠太	茨城大学学術研究院 応用生物学野	助教
39	母体メチオン欠乏が腸内細菌を介し次世代マウスの代謝再プログラミングに及ぼす影響	李 旭光	東京大学大学院 農学生命科学研究科	研究員

【自然科学分野】 共同研究 8件 / 1件 500万円の助成

No.	研究課題	代表研究者	所属機関	役職
1	高濃度塩による苦味受容体活性化メカニズムの解明	林 到炫	京都大学大学院 医学研究科	助教
2	カドミウム摂取による食のリスクの多角的低減にむけたイネの新規有用遺伝子の単離	浦口 晋平	北里大学 薬学部	講師
3	腸内細菌叢において見出した新規ファージ防御機構の解明と応用展開	倉田 竜明	理化学研究所 開拓研究本部	研究員
4	ウェットとドライを融合した宿主脂肪酸代謝酵素とノロウイルス複製相互作用の研究	小林 さくら	東京大学大学院 農学生命科学研究科	博士課程
5	食品由来物質による脂肪組織活性化によるがん免疫微小環境の調節と免疫療法戦略の開発	坂田 豊典	東京大学 定量生命科学研究所	助教
6	高機能化米ぬかナノ粒子の経口摂取による炎症性腸疾患の予防	西川 元也	東京理科大学 薬学部	教授
7	双方向性トランスオミクス解析によるトランス脂肪酸に対する細胞応答機構の包括的解析	平田 祐介	東北大学大学院 薬学研究科	助教
8	異所性味覚受容体を介した食品の新たな生理機能	松原 琢磨	九州歯科大学 分子情報生化学分野	准教授

(所属機関・役職は申請時、敬称略)

2025年度学術研究助成 研究課題および対象者一覧

【人文科学分野】 個人研究 40件 / 1件100万円の助成

No.	研究課題	氏名	所属機関	役職
1	アジア-アフリカ交流圏としてのサハラのダイナミクスー19世紀のスーフ地方を中心に	天野 佑紀	フランス社会科学高等研究院 歴史と文明学科	博士課程
2	日本とベトナムにおけるトランスローカル・コミュニティの形成と持続可能な農村社会	李 賢郁	信州大学 経法学部	講師
3	19世紀のロシア帝国のシーア派政策とイランのシーア派ウラマー	石本 雅之	大阪公立大学大学院 文学研究科	博士課程
4	元・明交替期における禅宗寺院の伽藍配置の変革についてー太原崇善寺の研究を中心に	温 静	東京藝術大学大学院 美術研究科	教育研究助手
5	近世大名家臣層にみる武家の「家」意識形成と展開	宇野 鈴音	早稲田大学大学院 教育学研究科	博士課程
6	宋代の朝貢と広域秩序	遠藤 総史	中央研究院 歴史語言研究所	博士後研究學者
7	法的銃剣とブルドーザーへの軍用地主の抵抗ー坪反戦地主と宇宜野湾郷友会の事例から	大城 尚子	北京工業大学 外国語学院	外教講師
8	植民地主義とジェンダー: 植民地朝鮮における日本人産婦人科医の実践	大室 恵美	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科	博士課程
9	内藤久寛による日中親善事業の史学的研究ー戦前民間レベル親善の実態とその限界ー	何 琦璠	東北大学大学院 国際文化研究科	博士課程
10	日本のスポーツアニメにおける食の描写の経時的な変遷	角谷 雄哉	大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部	准教授
11	遼東半島における埋蔵文化財採集活動からみた近現代考古学史の再検討	加藤 俊吾	大阪歴史博物館 企画広報課	学芸員
12	カンボジアの発展過程における零細小売企業の変容: 5年間の追跡調査に基づく実証研究	金山 雄樹	慶應義塾大学大学院 経済学研究科	博士課程
13	日本におけるベトナム人技能実習生が不法就労を選択する要因	NGUYEN HOANG THANH DANH	昭和女子大学 国際学部国際学科	非常勤講師
14	農業従事者の筋骨格系障害を多面的に解く: 社会科学と医療が交差する学際実証研究	WU YUNXI	香川大学 インターナショナルオフィス	講師
15	モンゴル時代における全真教の思想史的研究	孔 詩	東京大学大学院 人文社会系研究科	博士課程
16	2018年配偶者控除改正が日本の既婚女性の労働市場参加及びメンタルヘルスに与える影響	後藤 悠香	ユニヴァーシティ・ カレッジ・ロンドン (UCL)	博士課程
17	根本説一切有部律「破僧事」における破僧後のデーヴァダッタ物語とその並行資料の研究	小南 薫	京都大学大学院 文学研究科	博士課程
18	対立から協調へのサブ・エスニック集団: 1970年代以降の在日華僑社会の変容	JI CHEN	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程
19	ロシア帝政期の南東コーカサスにおける「強制婚」、「誘拐婚」、「駆け落ち」	塩野崎 信也	龍谷大学 文学部	准教授
20	前近代カンボジアの上座部仏教寺院の成立に関する研究: 上座部仏教国化の過程と実態	下田 麻里子	早稲田大学大学院 文学研究科	博士課程
21	南宋士大夫の詩文制作と郷里社会ー陸游・楊万里・周必大を中心に	岑 天翔	大阪大学大学院 人文学研究科	博士課程
22	トルクメニスタン政府によるオンライン空間の管理・統制に対する市民社会の対応	鈴木 朝香	東京大学大学院 学際情報学府	博士課程
23	韓国黎明期 (1948 - 1960) 政府による「韓国」国民形成の試み	高城 建人	神戸女子大学 文学部国際教養学科	助教
24	近代日本における在郷軍人と政党政治との関係についての研究	玉木 寛輝	慶應義塾大学 教養研究センター	非常勤講師
25	特殊須恵器を通じた古代東アジアにおける地域間文化交流と生産体制の解明	陳 永強	名古屋大学大学院 人文学研究科	博士課程

(人文科学分野 個人研究の続き)

No.	研究課題	氏名	所属機関	役職
26	日本書道史における「和様」言説の再検討ー唐風受容の重層性と時差の視点からー	陳 雪濤	東京大学大学院 人文社会系研究科	博士課程
27	近代日本における港の統治メカニズムー沖仲仕に着目して	中村 健太	岡山県立大学 保健福祉学部	助教
28	インド・ジャイナ教在家者における寄付活動の人類学的探究	西坂 季恵	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程
29	1930-40年代戦間期日本における「国民詩曲」の音楽史的意義	長谷川 由依	東京藝術大学大学院 音楽研究科	博士課程
30	日本統治期台湾映画史に見る統治／抵抗の二項対立から逸脱する台湾人の主体性	原口 直希	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程
31	鉱山の後ー植物・人間・鉱毒の関係性を問い直すー	FUNG Wan Yin Kimberly	一橋大学大学院 社会学研究科	博士課程
32	冷戦期の訪日日本人によるドキュメンタリーの研究：「西側陣営」の東アジア的視点	龐 鴻	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程
33	清朝における四川省移住民社会の形成と存続ー『南部県档案』を史料として	穆 林	京都大学大学院 文学研究科	博士課程
34	犯罪被害者の法的地位と司法参加に関する検討ー一日中比較研究を踏まえて	馬 柔佳	大阪大学大学院 法学研究科	博士課程
35	台湾における汎原住民意識の拡張過程に関する文化人類学的研究	益田 喜和子	慶應義塾大学大学院 社会学研究科	博士課程
36	冷戦下アジア・太平洋島嶼間の米核兵器に関する研究：沖縄・グアム・ミクロネシア	元山 仁士郎	一橋大学大学院 法学研究科	博士課程
37	法華堂と法華堂墓所に関する基礎的研究	矢島 正豊	早稲田大学 グローバルエデュケーションセンター	助手
38	戦後賠償建築論：日本によるジャカルタ都市空間の近代化	山下 嗣太	コーネル大学 アジア研究学科	博士課程
39	1970年前後の「核」と向き合った人びとの模索：「写真実践」より対話する冷戦下の経験	吉成 哲平	大阪大学大学院 人間科学研究科	博士課程
40	冷戦期の在日米軍と性産業に関する史的研究：1950・60年代の厚木基地の事例から	和田 吾彦彦アンジェロ	東京大学大学院 総合文化研究科	博士課程

【人文科学分野】 共同研究 4件 / 1件 490~500万円の助成

No.	研究課題	代表研究者	所属機関	役職
1	東アジア祭祀記録を軸とした共創型アーカイブズ活用モデルの開発	高科 真紀	国立民族学博物館 人類基礎理論研究部	助教
2	東アジアにおける色彩感覚と認識に関する総合的研究	竹内 有子	京都先端科学大学 人文学部	准教授
3	モンゴル仏教寺院遺跡のデジタル・アーカイブの構築	堀内 香里	東北学院大学 アジア流域文化研究所	特別研究員
4	東アジアにおけるデジタル立憲主義ー日台韓の憲法理論の深層	山本 健人	北九州市立大学 法学部	准教授

(所属機関・役職は申請時、敬称略)